

2009年12月9日

今後の印刷人材教育のあり方

主催 国際印刷大学校・印刷教育研究会

印刷産業界の発展には教育が重要項目であるが、全国の大学、高専、高校などの印刷メディア専攻の学科がデザインや情報へと科名を変更していった。当然、印刷及び関連の学科目が激減し、印刷産業界への意欲ある優秀な人材の就業が減少している。印刷産業が躍進している中国やロシアでは印刷のプロを養成すべく、北京印刷学院（大学）、モスクワ印刷大学など印刷技術に特化して、それに関連するカリキュラムを編成し、印刷人材教育を展開している。

この背景のもと、東京グラフィックサービス工業会は厚生労働省の所轄する Job Card 制度（職業能力形成システム）を印刷界に導入を図るため、地域モデル事業として受託し、2009 年度に委員会を構成、2010 年度からの事業開始の準備をしてきた。この事業の一環として、JGAS2009 最終日の10月10日、会議棟に27の大学、短大、高専から学生約90名の参加のもと、Job Card 制度の趣旨と就職説明会を行った。

Job Card 制度はイギリスの全国職業資格認定制度(National Vocational Qualification)(NVQ と略)を参考にしたもので、訓練と雇用の融合化を目的としている。委員会では 営業、DTP、製版、印刷、製本加工の実践型人材養成システムのカリキュラムを構築し、印刷界における各分野の職業観を持つ優秀な人材の採用と中核人材育成の貢献をめざしている。今後の印刷人材教育に関する各分野からの識者を講師としてお迎えし、PAGE2010 のジョイントミーティングとし、下記内容の講演会を開催いたします。

記

1、期日及び時間；

2010年2月3日(水) 13時30分～15時(受付13時15分)

2、会場；池袋サンシャイン文化会館7階701会議室(電話070-5694-0174)

3、会費；無料(要旨・資料配布)

4、演題及び講師；(発表25分・質疑応答5分) 司会；三浦 澄雄氏

(1) 世界の印刷教育の現状と日本での展開 (13時30分～14時)

国際印刷大学校 木下 堯博氏

(2) Job Card 制度の印刷界での取り組みー実践型人材育成システムー

(14時～14時30分)

東京グラフィックサービス工業会 斉藤 成氏

(3) OJT と印刷教育訓練

(14時30分～15時)

日経印刷㈱ 吉村 和敏氏

5、申込み；会社名及び大学名、氏名を記入し kinoaki@mpd.biglobe.ne.jp まで(個人情報はこの講演会のみによいます。締切り；2010年1月28日、定員なり次第締め切ります。

詳細は国際印刷大学校 URL: <http://www.media-igu.com> をご参照下さい。